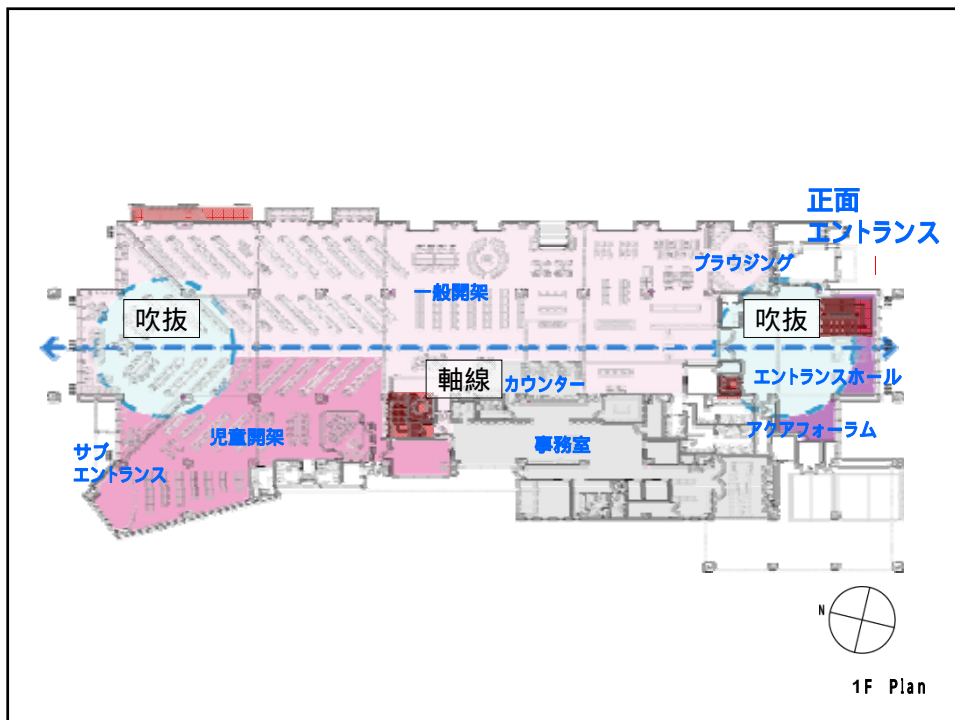
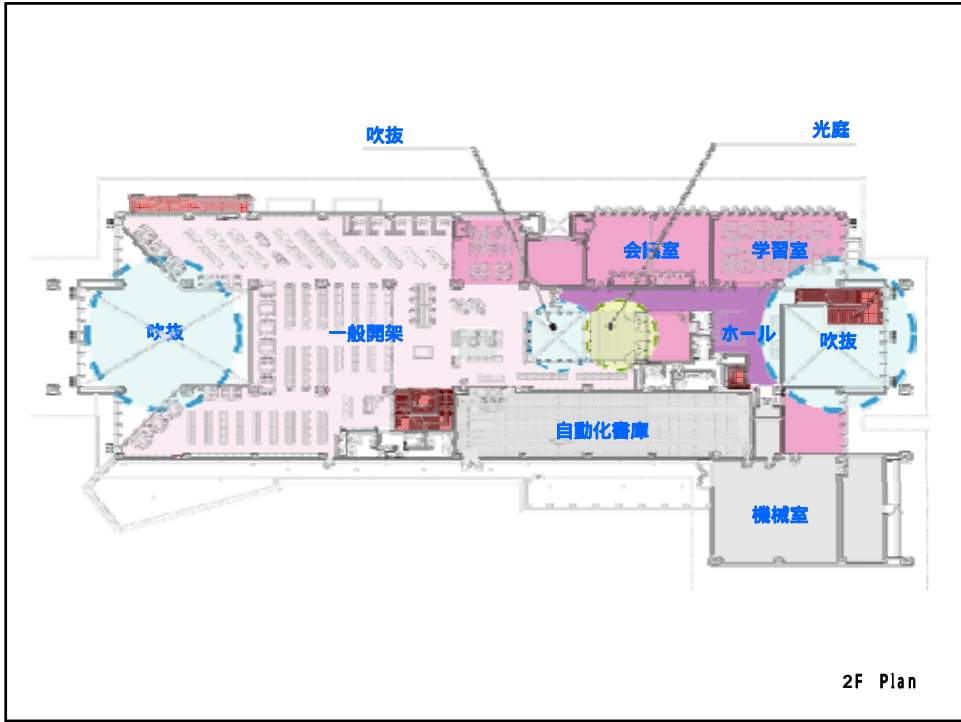


# < 先進事例の紹介 >

## 西条市立図書館



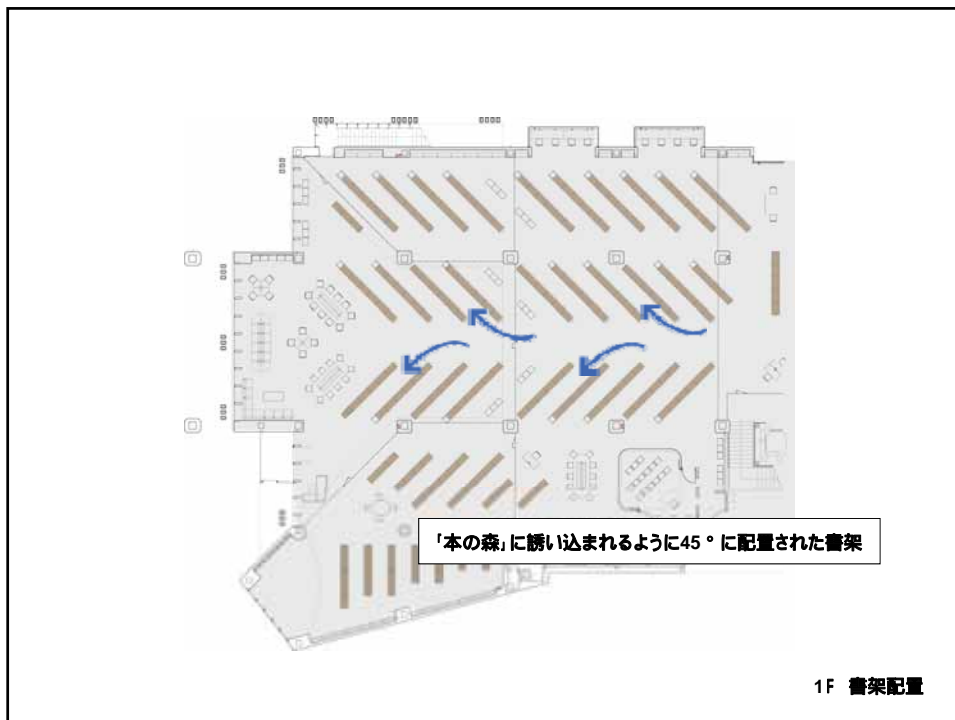


### 書架デザイン

- ・濃色のトーンを用いて、落ち着いた雰囲気を読しだす書架
- ・書架照明によって天井面をシンプルで明るく演出

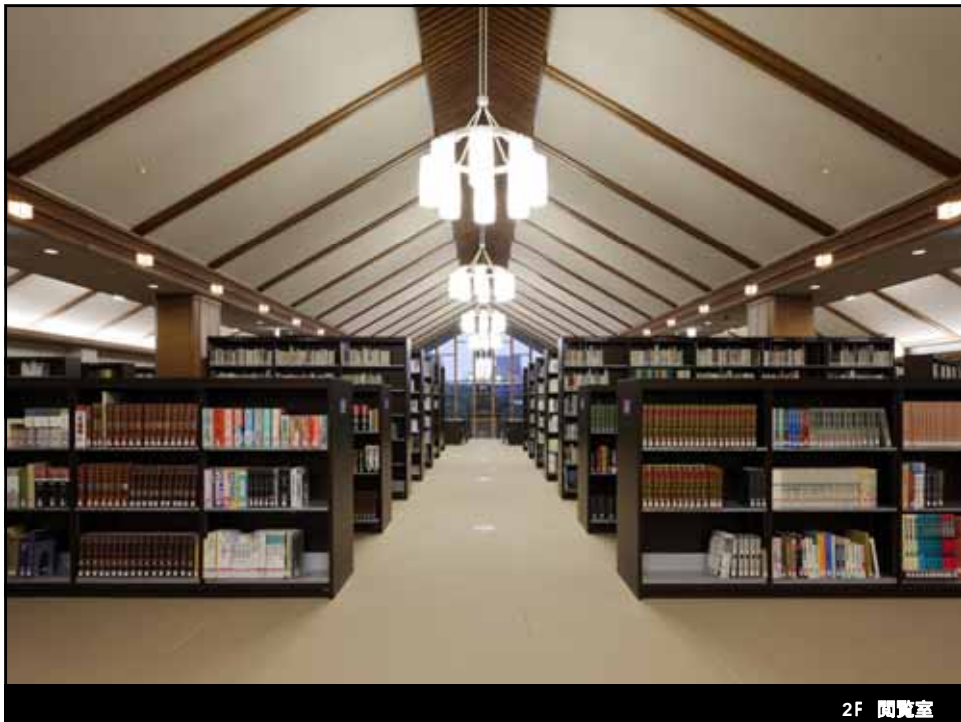


受付カウンター





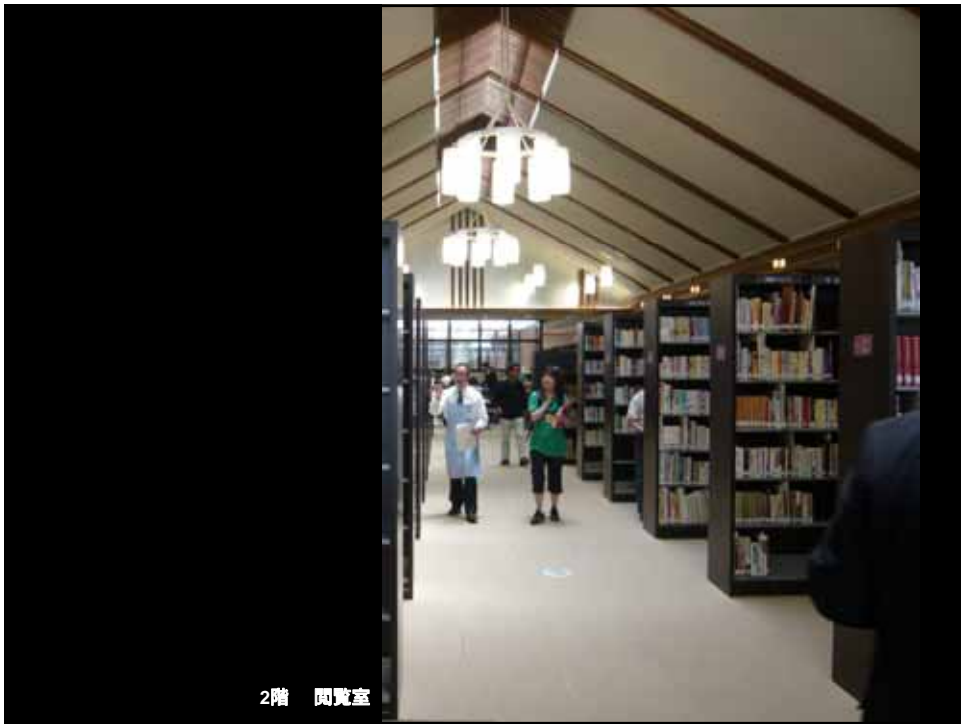
北側閲覧室吹抜より書架をのぞむ



2F 閲覧室



2階 閲覧室



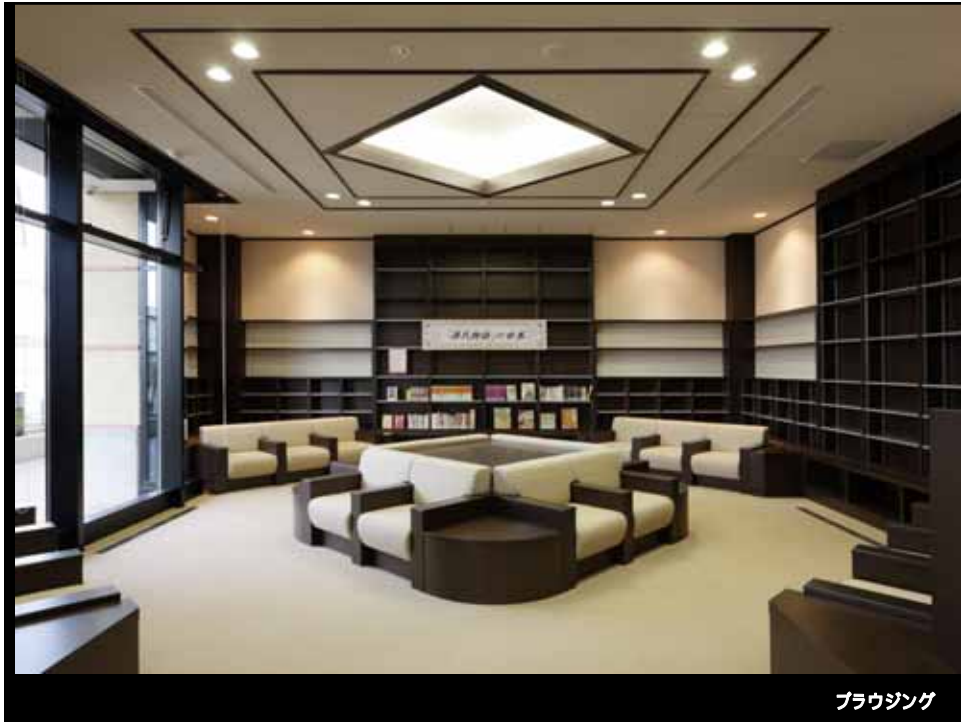
2階 閲覧室



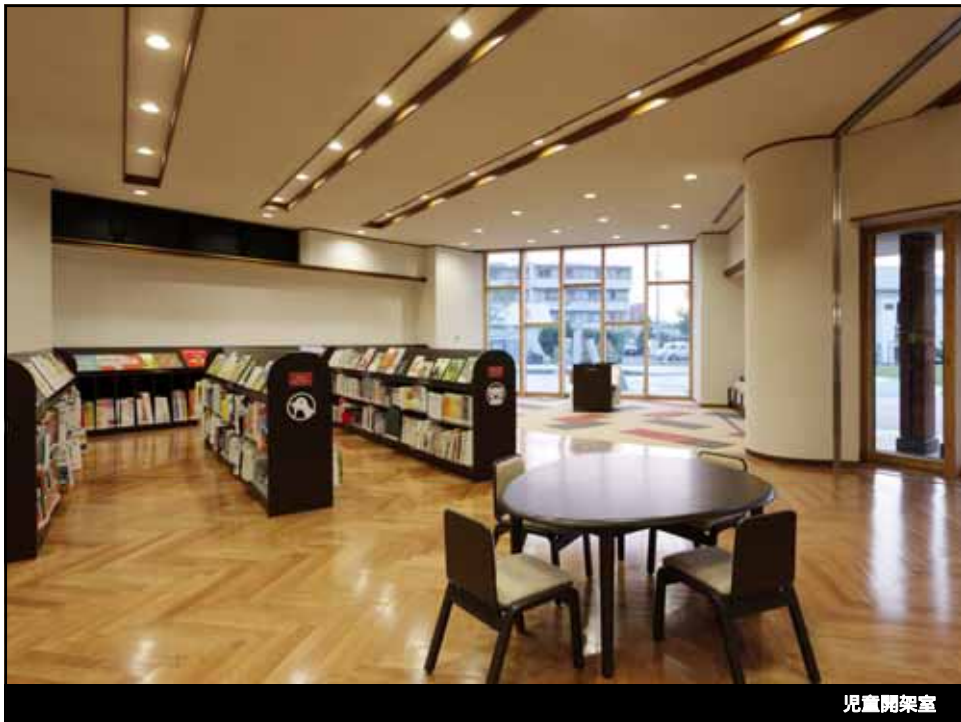
出窓 内観



入窓 内観



ブラウジング



児童開架室

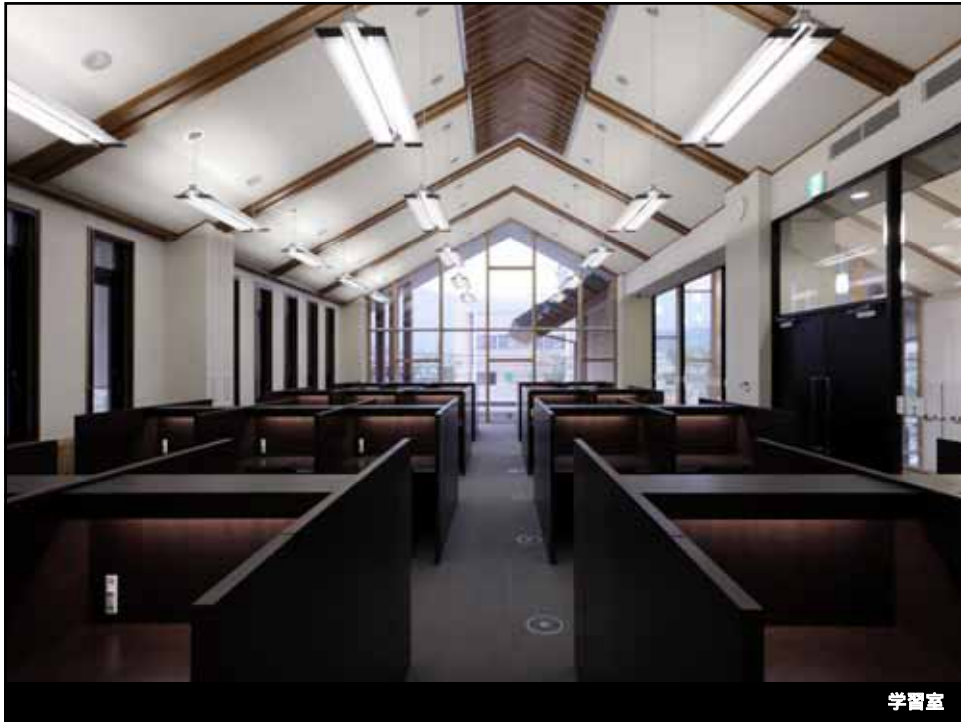




お話コーナー



視聴覚コーナー



学習室



ミニオフィス  
5ブースにそれぞれ1台  
ずつパソコンがあります。  
インターネットが無料で  
使用できます。

# 金沢海みらい図書館





写真1 読書室は高さ12mの吹き抜け



読書室の吹き抜けから2階の読書室を見える。部屋の30mm、高さ30mmの網目パネルで高さ12mの吹き抜け空間を支える

1階南側に設けた児童図書コーナー。2万4000冊の児童書を収蔵している。1階には天井照明がある



# 小布施町立図書館 「まちとしょテラソ」

「児童図書」の役割は人 **まちとしょテラソ** (小布施町立図書館)

## 適度なざわめきが人を呼ぶ

小布施町立図書館「まちとしょテラソ」の完成を祝う





**【児童図書】の役割は人** **まちとしょテラソ** (小布施町立図書館)

小布施町立図書館「まちとしょテラソ」は、児童図書を中心に、地域の子どもたちに読書の楽しさを伝えることを目指している。また、地域の住民が集い、交流する場として機能している。

児童図書は、子どもたちの成長を支える重要な役割を果たしている。読書を通じて、知識を身につけ、想像力を養い、自己表現力を高めることができる。また、読書は、心を豊かにし、生活の質を向上させる効果がある。

「まちとしょテラソ」では、児童図書だけでなく、地域の文化や歴史に関する資料も充実させている。また、読書会やワークショップなどのイベントも開催しており、地域住民との交流を促進している。

小布施町立図書館「まちとしょテラソ」は、地域の子どもたちにとって、学びの場であり、交流の場である。これからも、地域の文化を育み、子どもたちの成長を支えるために、努めていく。

写真1 山並みに呼応する建屋観



山麓から見下ろした建屋観。山の輪線を建屋のデザインに取り入れた、高に拘束する制約場の付帯と一貫性として実現している。2012年の日本建築学会作品選奨を受賞した。

写真2 外構も市民主体で整備



木の木を植した歩道には、地元の高齢者が小学校の児童と一緒に植樹活動を行った。建設費削減を目的とした植樹プロジェクトとして、3年計画で段階的に整備する。(写真：中野)

写真3 館長自らカウンターで出迎える



館長は、入り口すぐ脇のコンシエールカウンター内にある。このスタイルも、市民から採られた意見を実現したものの。

写真4 独自企画で発信



館1本の経営を担うための講演会など、さまざまな企画を仕掛ける。書棚も、市民が自主的に仕掛けるシニアブックも取り入れた。(写真：中野)

# 武蔵野プレイス







写真1 1階の中央にカフェを配置



1階のカフェは、この施設が各種施設を融合させたコミュニケーションの場であることとを象徴する存在として、施設の中心部に配置した。裏面にある新書・雑誌資料棟（右上の写真）と一体的にデザインした。「交流を生む場」という趣の理念に賛同し、カフェでイベントなども実施できる民間事業者をプロポーザルで選定し、委託した（前田健典）

写真2 青少年が気軽に集える場をつくる



地下2階に設け可能な青少年のスペース「スタジオラウンジ」を設けた。平日の夕方は読書やゲーム、勉強をする中高生でにぎわう。同じフロアには「アート&ティーンズライブラリー」（写真集）がある

写真3 異なる世代を種やかにつなぐ



青少年のフロアとなる地下2階には芸術系や青少年向けの図書をもそろえた。スタジオラウンジと種やかにつなげて、読書への興味を促す。各せん階階の上は一般向け図書をもそろえた地下1階のメインライブラリー

## 大社文化プレイス





# せんだいメディアテーク





4階から5階のライブラリー（山形市立図書館）を見下ろす。4階のフロアがあるのは北側の一部だけで、東側は2・3階が伸びている。読書全体の運営は山形市と・まち・交流財団だが、4階のライブラリーは市立図書館として手が運営している



4階の「読書アラウンド」と呼ぶインターネットが利用できるパソコンコーナー。奥に見えるカーテンの向こう側は事務スペース



ライブラリーの柱まわりにはベンチを設置している



4階のライブラリー。Book&Dのフロア設計に合わせたガラスの柱によって空間性が印象的で集客のスペースとなっている。またガラスとフローリングの組み合わせが印象的



読書空間のフロアは、多量にアイディアが詰まっています。しかし、読書空間としての機能性も十分に考慮されています



4階のエリアでは、各種のグッズを取りそろえて読むことができます